

広報 Fukuyama Public Relations Magazine

# ふくやま



平成30年  
2018

7

July

No.1064

特集

日本遺産認定 鞆の浦

子育てのことならまずは「あのね堂」へ!...3 知ってほしい 最近の福山...4  
子どもと妊婦を受動喫煙から守ろう...8 国民健康保険・介護保険制度など...9・10



JAPAN HERITAGE

日本遺産

瀬戸の夕凧が包む 国内随一の近世港町  
～セピア色の港町に日常が溶け込む鞆の浦～



福山市

# 日本遺産認定 鞆の浦

瀬戸の夕凧が包む 国内随一の近世港町  
～セピア色の港町に日常が溶け込む鞆の浦～



①常夜燈 ②雁木

5月24日、日本遺産に認定された鞆の浦。古くから瀬戸内海の海上交易の要所として栄え、近年では映像撮影の舞台としても注目されています。昨年度は国の重要伝統的建造物群保存地区選定やユネスコ「世界の記憶」登録など注目度はうなぎ上りですが、そもそも「日本遺産って何?」「鞆の浦の何が認定されたの?」と感じている人も多いのではないのでしょうか。今回は日本遺産に認定されたストーリーに含まれる構成文化財の一部を紹介します(ストーリーは市ホームページに掲載しています)。

問文化振興課 ☎928-1278

常夜燈から淀媛神社  
まで歩いて15分

## ◆自然と人の歴史が織りなす景観

穏やかな瀬戸内海の多島美や古くから連綿と続く人の営み、港に係留された船…これらの風景は今も昔も魅力です。江戸時代に福禅寺を訪れた朝鮮通信使は「日東第一形勝(日本で一番美しい景色)」の言葉を残し、オランダ商館長も絶賛しました。淀媛神社や医王寺などの高台からもこれらの景観を見渡すことができます。



③淀媛神社



高台から見渡す鞆港

## ◆近世随一の常夜燈と港湾施設

「常夜燈」は港に現存する江戸時代のものとして国内最大級の大きさを誇り、天に伸びる笠の反りと宝珠の美しさは今も昔も鞆のシンボルとして愛されています。常夜燈の袂から海に向かって階段状に並ぶ「雁木」は最大4mもある潮の満ち引きに関係なく船の荷下ろしを可能にする港湾施設で、干潮時の姿は円形劇場のように芸術的です。港の端から海に突き出て緩やかなカーブを描く「波止」は湾内の波を穏やかにし、港を守る防波堤です。

江戸時代の港湾施設がまとまって現存する港町は国内唯一のものとして高く評価されています。



⑤重要伝統的建造物群保存地区

## ◆港町ならではの「祭り」と「食」

港町ならではの伝統文化が今も息づいています。海上安全や無病息災を祈念して7月に開催される「お手火神事」は、200kgもある巨大なたいまつを沼名前神社に奉納する伝統行事です。

江戸時代に福山藩の主要な産物として船で全国へ届けられた「保命酒」や瀬戸内海で取れた新鮮な魚を加工した「小魚の練り物」など、鞆の浦ならではの食文化も受け継がれ、今も土産物として愛され続けています。



福山・鞆の浦の日本遺産認定おめでとう!ふるさと福山を代表する港町「鞆の浦」が、日本の魅力の1つとして日本遺産に認定されたことをとても誇らしく思います。鞆の浦は歴史的な古い町みだけでなく、伝統的な祭りや食べ物などが多く残る豊かな町だと感じています。

これからも福山のおもてなしの魅力を発信していきます。

福山ふるさと大使 小林克也



④波止

## ◆「潮待ち」が築いた町並み

常夜燈前の「荷揚げ場」から一歩足を踏み入ると物資を保管した白壁の蔵が建ち並ぶ町並みが残っています。サイコロ目のナマコ壁や古い船板を使った壁など、洒落た意匠を随所に見ることができます。また狭い路地にはかつての町家の雰囲気を残した住宅が軒を連ね、港町ならではの光景をあちこちに見ることができます。

今年のお手火神事は  
7月7日午後8時から



⑥お手火神事



## ◆構成文化財とは?

日本遺産のストーリーを語る上で欠かせない文化財を「構成文化財」といい、今回認定されたストーリーには29の構成文化財が含まれています。常夜燈や雁木などの近世港湾施設や太田家住宅などの建造物だけでなく、「祭り」や「食」などもストーリーを語る上で欠かせない構成文化財となっています。

## ◆そもそも日本遺産って?

地域の歴史的魅力や特色を通じて日本の文化・伝統を語るストーリーが日本遺産です。今までの文化財行政は「点としての保存」を重視していましたが、日本遺産は「面としての活用」を重視し、国内外に発信して観光振興や地域活性化につなげることを目的としています。ストーリーがその地域の際立った歴史的特徴を示し、日本の魅力を国内外に伝えるものになっているか、地域づくりについての将来像が示されているかなども評価されます。

## ◆認定されるとどうなるの?

日本遺産に認定されると、行政などでつくる協議会が文化庁から補助を受けることができるようになります。日本遺産認定をきっかけに、鞆の浦の港町文化を語る上で欠かせない魅力あふれる文化財を総合的に活用していきます。さらに国内だけでなく国外へも魅力を発信していくとともに、人材育成や調査研究などにより、これからのまちづくりの活性化につなげていきます。



認定日の5月24日に常夜燈前で祝賀会が行われました

